

「豊かな大阪をつくる」学者の会シンポジウム

大阪クロス選の 投票結果分析

— 維新は強くなったのか？ —

関西学院大学法学部教授
富田宏治

1

維新政治の本質

市民の分断の組織化と固定化

2

維新政治の本質 市民の分断→分断の組織化・固定化

- 維新政治の本質は...
- 貧困と格差の拡大に直面する大阪の街を背景に住民の間に生じていた分断の**顕在化**
 - 中堅サラリーマン層・自営上層の「勝ち組」的気分感情に対するポピュリスト的煽り
 - 稀代のポピュリスト・橋下徹氏の果たした役割
- くり返される選挙・住民投票を通じた分断の**組織化と固定化**
 - 維新のモンスター的集票マシンへの変貌

3

維新による分断の基本線



- たとえば...維新の本質を曝け出して見せた長谷川豊
- 衆院千葉1区に維新から出馬⇒**落選**。**比例も落選**
- 「自業自得の人工透析患者なんて、全員実費負担にさせよ！無理だと泣くならそのまま殺せ！今のシステムは日本を亡ぼすだけだ！」
- 弱者への剥き出しの憎悪

4



維新の変貌

モンスターの集票マシンへ

6

モンスターのような「集票マシン」へと変貌した大阪の維新

- 国会議員、地方議員
百数十名に、1日300
握手、600電話、10
辻立ちのノルマ



- 監視役を派遣し、ノルマ達成を日々点検
- 「ブラック政党ですわ」との地方議員のぼやき
- 自民党の支持者名簿をもとに1日数万本の電話

- 2016参議院選挙では、浅田候補と高木候補に
しっかりと票を分け合う見事な組織戦を展開

- 浅田は府議団、高木は国会議員団と大阪・堺市議団

7

「身を切る改革」＝新自由主義改革を支持する層を組織する組織政党へ



- 参議院大阪選挙区

- 自民・松川 761,424
- 維新・浅田 727,495
- 公明・石川 679,378
- 維新・高木 669,719
- 共産・渡辺 454,502
- 民進・尾立 347,753

- 松井知事の200万からすれば、140万は少ないが...

8

大阪における維新の組織票は健在 決して大阪の維新を侮るべからず!!

- 比例区: 1,143,606 (32.4%) → 934,972 (26.9%)
希望に行った208,550を足すと1,143,522
- 1区: 75,016 → 66,506 □ 12区: 41,649 → 64,530
- 2区: 56,025 → 68,844 □ 13区: 次世代 → 52,033
- 4区: 74,101 → 72,446 □ 14区: 78,332 → 77,696
- 市計: 205,142 → 207,796 □ 15区: 74,483 → 74,368
- 7区: 67,791 → 66,780 □ 17区: 70,196 → 65,427
- 8区: 62,522 → 57,187 □ 18区: 88,638 → 87,070
- 9区: 91,400 → 91,433 □ 19区: 56,119 → 66,712
- 10区: 50,516 → 44,938 府計: 945,109 → 1,017,834
- 11区: 58,321 → 61,859 13区の分を引けば965,801

9

自民支持層の崩壊

経済保守・政治保守・社会保守

10

自民支持層の崩壊

- 吉村氏の大量得票227万票をどう見るか？
- 各社出口調査－住民投票、W選挙と同様の結果
 - 自民支持層の約50%が維新に流れた
 - 公明支持層の約20%が維新に流れた
 - 立憲・共産支持層の約30%が維新に流れた
- 2016年参院選大阪選挙区
 - 自民76万 → 40万弱が維新へ
 - 公明68万 → 15万弱が維新へ
 - 民進・共産80万票 → 20万強が維新へ
- 維新の組織票140万 + 40万 + 15万 + 20万 = 215万

11

経済保守・政治保守・社会保守①

- 保守は経済保守・政治保守・社会保守に分裂
 - 新自由主義的・市場万能主義的「改革」による成長を求める経済保守 → 小泉・竹中「構造改革」
 - 9条改憲、戦前回帰を求める「靖国派」的な政治保守 → 「日本会議」、安倍9条改憲
 - 地域社会、地域経済のコミュニティに根ざす社会保守 → 町内会(地域振興会)・商工会
- 自民党は本来、経済保守、政治保守、社会保守の緩やかな連合体

12

経済保守・政治保守・社会保守②

- 大阪自民から先鋭な**経済保守**と**政治保守**の一部が割って出る→**大阪維新の会**を結成
- 残された大阪自民は...
 - ①柳本顕氏らを典型とする**社会保守**
 - ②中山泰秀氏らを典型とする**政治保守**
 - ③維新ほど先鋭ではない**経済保守**
 - 自民党支持層も同様の構成→**国政では安倍支持**
- 維新との一騎打では、②と③が崩れ、維新へ
- **日本第二の商都の「勝ち組」**的気分感情

13

維新は強くなったのか？

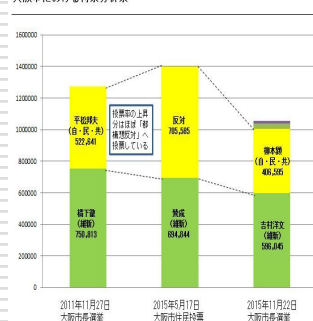
大量棄権層が勝敗を分ける

14

大量棄権層が勝敗を分ける

- 住民投票では、40万の大量棄権層のうち、約10万が橋下の「風」に煽られて賛成に
 - 住民投票賛成票と吉村票
 - 69.5万－10万＝59.5万
- 30万が「オール大阪」に期待して、反対に
 - 住民投票反対票と柳本票
 - 70.5万－30万＝40.5万
- 40万棄権が勝敗を分けた

大阪市における得票分析表



15

以下の数字がすべてを物語る

- 住民投票 投票率 **約67%**
約140万票 69万票対70万票
- W選挙 投票率 **約51%**
約100万票 60万票対40万票
- クロス選挙 投票率 **約53%**
約114万票 66万票対48万票

16

「風」だけの「空中戦」から、 地を這うような「組織戦」「陣地戦」へ

□ 投票率・得票数(大阪市内)

- 統一地方選(2015) 約50% 約100万票
- 住民投票(2015) 約67% 約140万票 69万票対70万票
- W選挙(2015) 約51% 約100万票 60万票対40万票
- クロス選(2019) 約53% 約114万票 66万票対48万票

□ 大量棄権層のうち40万が住民投票では投票所に。W選では棄権に戻る

□ クロス選で、反維新はW選よりは良く戦った。住民投票のようには戦えなかった。

□ 次はどう戦うか？それが問題

□ 住民投票で反対に投じた30万の棄権層にどう働き掛ける？